

平成30年度

事業報告書

第41期

(自) 平成30年4月 1日

(至) 平成31年3月31日

社会福祉法人 秀幸福社会
庄栄エルダーセンター

平成 30 年度 特別養護老人ホーム・ショートステイ事業報告

○H30 年度実績報告

<特別養護老人ホーム>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数(名)	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,668	1,736	20,440
利用人数(名)	1,597	1,656	1,624	1,626	1,589	1,565	1,656	1,584	1,577	1,565	1,412	1,457	18,907
空き日数(日)	83	80	56	110	147	115	81	96	169	171	166	279	1539
前年比(%)	96.8	97.9	103.6	99	97.9	101	104	102	101	107.3	97.4	89.7	99.7
目標比(%)	95.1	95.4	96.6	93.7	91.6	93.2	95.3	94.3	90.8	90.1	90.5	84	92.5

<ショートステイ>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数(名)	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300
利用人数(名)	641	645	682	740	643	603	471	543	644	664	662	721	7,559
前年比(%)	105.3	90.6	112	107.2	96.4	95.7	73.9	93.5	107.1	114.9	115.5	118.8	102.2
目標比(%)	106.8	104	113.7	119.4	103.7	100.5	76	90.5	103.8	107.1	110.7	116.3	104.9

○H30 年度特別養護老人ホーム・ショートステイ共通報告

H30 年度中長期計画に基づき、運営

・介護職員の年度間入退職状況

入職者(常勤職員)4名 … うち1名 人事異動 (昨年度比 -1)
 (非常勤職員)8名 … うち2名 派遣職員
 うち3名 時間限定勤務 (昨年度比 +4)
 退職者(常勤職員)6名 (昨年度比 +1)
 (非常勤職員)3名 ※新人研修中での退職者1名 (昨年度比 -2)

平成 29 年度の介護職員数 … 45名

平成 30 年度の介護職員数 … 43名 総数としては-2名。

中長期計画「職員の確保」に基づき、募集を継続したが、常勤職員(特に夜勤可能職員)増員とならず、引き続き早急な人材確保が必須

・夜勤 4 人体制について

上記入退職状況により、実施できず
 職員のひと月当たりの夜勤回数増加により、負担増

1

それに伴い、感染者はゼロ

多剤耐性菌等感染源保菌者への感染症予防対策は継続して実施(現在保菌者は4名)

○H30 年度ショートステイ事業報告

・今年度新規利用者様獲得数 … 136名

昨年度比較 +28名

昨年に引き続き、初めて依頼をいただいた事業所から、その後も新規紹介いただいている
 今後も新規から定期的な利用に繋げていき、稼働率アップを狙う

・利用者様平均介護度 … 3.0

前年度平均介護度 … 3.1

ロングステイ者等で介護認定の区分変更申請をされる利用者様が複数
 転倒リスクが高い利用者様に関しては、情報を共有し事故を防ぐ

・ロングステイについて

特養の退所者増に伴い、特養空きベッドの入所待ち利用者様への対応が課題。

・毎月の営業活動

昨年度に引き続き、利用実績、空床案内に加え、行事予定や施設内の紹介を掲載したチラシを持参し、各事業所に営業訪問を継続
 下半期からは同じチラシを家族様にも配布、直接依頼をいただけることも出てきている

・地震、台風の影響によるショートステイ

家屋の修理や引っ越し期間中のショートステイ希望が多くあった
 中長期計画にある、「地域情報とニーズの把握」を即座に行い、可能な限り受け入れを行うことで信頼度を獲得
 次回の利用に繋げることができた

3

・人材育成について

中長期計画に基づき、研修計画を立案

内部研修 … 事業計画通りの内容で毎月学習会を実施

外部研修 … 計画に準じ、22項目のべ22名が受講

うち対象職員が多い10項目の伝達研修を実施

内部研修と外部伝達研修については、2時間勤務者を除く介護職員全員がレポートを提出

新人・異動職員についてはチューター制度を引き続き実施

・見守り体制の強化の継続

重度化とともに多動で、転倒等のリスクが高い利用者様が増

昨年に引き続き介護ロボット「見守りシステム眠りスキャン」を活用

夜間の転倒事故防止に大きく貢献している

・感染症について

10月に皮膚感染症(疥癬)の感染者が利用者様や職員ともに多数発生

拡大を防ぐため、ショートステイの受け入れを一時停止

確実な安全性をお伝えし、ご迷惑をおかけしたことの謝罪をし、以前と変わらぬショートステイ利用に繋がっている

・インカム導入

中長期計画にある、「情報の共有等」に使用するインカムを導入(計7台)

フロア内はもちろん各フロアの連携体制強化

入浴介助時に使用することで、入浴待ち時間の短縮や各フロアの協力が充実

○H30 年度特別養護老人ホーム事業報告

・今年度退所者数 … 23名

昨年度比較 +3名

過去5年間で最大の退所者数となった

・入院日数増加

年度間入院日数 … 1533日

昨年度比較 +47日

長期入院から退所になる流れが多かった

・入所利用者様平均介護度 … 4.5 昨年度と変化なし

・感染症について

今冬はインフルエンザが全国的に前例にないほど流行

施設内での蔓延を防止するため、家族様の面会及び業者の利用フロアへの立ち入りを全面的に停止

2

平成 30 年度 庄栄エルダー デイサービス事業報告

【平成 30 年度 庄栄デイサービス主な報告事項】

*介護保険制度改制により、利用者一人単価が減少

*制度変更前に比べ、一般利用者の平均単価が約1,000円、認知は約800円の減少が見受けられた。

*新規利用者獲得数(利用回数)に比べ、入院、ショートステイ、入所の利用者が上回ってしまった。

*地震、台風により、独居の利用者が一人ですむことが難しく、入所や家族の所へ引越してしまわれる方がいた。

*今年の事業所廻りにて、医療対応(インスリン、胃ろう、排便等)の利用者の受け入れを積極的に行い、広報を掛けていった。

*認知症通所介護の新規獲得も事業所紹介と一般デイでの認知度が高い利用者に関しては家族、ケアマネに相談し認知デイに移行して頂いた。

【実績報告】

平成 30 年度 通所介護・総合支援事業通所介護(登録利用者数 49 名)

月	営業日数	通所介護	総合支援	合計	前年対比	目標	達成率
4月	25日	948名	61名	1,009名	87.8%	1,225名	82.3%
5月	27日	1,014名	70名	1,084名	91.1%	1,323名	81.9%
6月	25日	911名	53名	964名	87.5%	1,225名	78.6%
7月	26日	955名	69名	1,024名	93%	1,274名	80.3%
8月	27日	977名	73名	1,050名	92.7%	1,323名	79.3%
9月	24日	868名	62名	930名	84.2%	1,176名	79.0%
10月	27日	1,043名	69名	1,112名	100.5%	1,323名	84.0%
11月	26日	824名	75名	999名	90.9%	1,274名	78.4%
12月	26日	849名	74名	923名	87.5%	1,274名	72.4%
1月	24日	749名	71名	820名	87.3%	1,176名	69.7%
2月	24日	814名	71名	885名	95.8%	1,176名	75.2%
3月	26日	910名	85名	996名	93.6%	1,274名	78.1%
合計	255日	10,962名	834名	11,796名	90.9%	15,043名	78.2%

4

平成 30 年度 認知症対応型通所介護(登録利用者数 10 名)

	営業日数	合計	前年対比	目標	達成率
4月	25日	159名	89.8%	250名	63.6%
5月	27日	198名	98.5%	270名	73.3%
6月	25日	188名	89.1%	250名	75.2%
7月	26日	204名	108%	250名	78.4%
8月	27日	195名	105.4%	270名	72.2%
9月	24日	145名	79.0%	240名	60.4%
10月	27日	196名	105%	270名	72.5%
11月	26日	202名	119%	260名	77.6%
12月	26日	196名	112%	260名	75.3%
1月	24日	178名	104.1%	240名	74.1%
2月	24日	192名	131%	240名	80.0%
3月	26日	221名	136%	260名	85.0%
合計	25.5日	2,274名	106.4%	3,070名	73.9%

【報告事項】

- 毎月必ず2日に生活相談員の入江・八木の2名にて、入所、ヘルプステーション、配食と共に実績表を持って事業所廻りの実施。下半期に関しては今井・芦田にて事業所廻りの実施。
- 認知症の新規獲得が難しい状況で、5時間～7時間の単位数で通常の時間より長く施設で過ごして頂ける事をケアマネに広報を掛け新規獲得に繋げている。又、一般 デイサービスにて認知度の高い利用者様には、ケアマネに相談し認知デイの移行の話をする。
- デイサービスの行事(お楽しみ会)には、臨時利用等の声掛けを行い利用者確保を図る。
- 体験利用、新規獲得の送迎範囲を距離で対応するのではなく、送迎時間にて対応を行った。
- 通常レクリエーションは男性職員が実施を行っていたが、女性スタッフにもレクリエーションの業務に付いてもらい利用者様に楽しんで頂いた。
- 利用者様の誕生日の第3週目のスタッフと一緒に写真を撮り、利用者様にプレゼントの実施。
- 毎月のデイ会議後に研修(内部研修)の実施

平成 30 年度 内部研修内容

- 4月 介護報酬制度改定
- 5月 認知症研修
- 6月 接遇研修
- 7月 デイサービス計画書に関する研修
- 8月 感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止研修
- 9月 障害に合わせた歩行介助

5

・機能訓練のスペースに防犯訓練実施。デイサービスからも希望された利用者 2 名参加。

4月20日(金) ぶどうの会

・ボランティアによる出し物(楽器演奏、漫談等)で利用者楽しんで時間を過ごして頂く。参加利用者 43 名

4月26日(木) 三線イベント

・職員の知り合いの方にお越し頂き、午後より三線を披露して頂く。参加利用者 45 名

4月28日(土) お楽しみ会(カラオケ大会)

・レクリエーションの時間帯にカラオケ大会を開催。利用者、職員が仮装しカラオケを楽しんで頂く。参加利用者 40 名

5月14日(月)～19日(土) 手作りおやつ週間

・2 種類の手作りおやつ(ハバロア・あん巻き)を厨房の方に手伝っていただき、利用者と一緒におやつ作りを楽しむ。参加利用者 18 名

6月14日(木) カラオケDAMイベント

・DAM関係の方による歌謡曲のショーを披露して頂き、利用者楽しんで頂く。参加利用者 42 名

6月24日(日) デイサービス初夏の遠足

6月21日(火) 高校生ボランティア(茶道)

・高校生のボランティアによる茶道を披露していただき、実際に抹茶と茶菓子を召し上がっていただく。参加利用者 46 名

9月14日(金) デイサービス敬老会・ちとせ学院敬老会

・100 歳を迎えられる 3 名の利用者には特別にプレゼントを用意し、デイサービス全体で敬老のお祝いをする。
・ちとせ学院の園児達に歌の披露してもらい、園児達とのふれあいの時間を楽しんで頂く。参加利用者 45 名

10月23日(火) デイサービス秋の大運動会

・デイフロア全体を使用し、紅白に分かれ利用者が参加できる競技を準備し全利用者を実施して頂く。

7

10月 リスクマネジメント研修

11月 非常災害研修

12月 身体拘束研修

1月 プライバシー保護研修

2月 法令遵守研修

3月 デイサービス職員意見交流会

平成 30 年度 外部研修内容

5月 指定居宅サービス事業者等集団指導

8月 嚥下の仕組みを知って肺炎予防

9月 認知症を理解し予防するコツ

9月 地域での多職種連携による栄養サポート

9月 在宅におけるSTの役割

9月 記録を充実させるための記録の基本と体制及び環境整備

11月 福祉用具を使用した腰痛予防・移乗介助

11月 高齢者と高血圧

12月 大阪老人福祉研究大会 事前説明会

12月 自立支援を導く動作観察のポイント

1月 結核の正しい知識について

2月 短期集中予防サービス研修会

3月 老年期に見られる精神症状について

3月 大阪老人福祉施設研究大会

3月 介護福祉士実習指導者講習会

平成 30 年度 伝達研修内容

9月 嚥下の仕組みを知って肺炎予防

10月 記録を充実させるための記録と基本の体制及び環境整備

12月 高齢者と高血圧

1月 自立支援を導く動作観察のポイント

2月 結核の正しい知識について

【平成 30 年度 行事報告】

4月13日(金) 手芸

・手芸(ブローチ)を希望される利用者午後より提供する。参加利用者 10 名

4月17日(火) 防犯訓練

6

各競技に参加された方へのプレゼントも用意し、普段と雰囲気違ったデイサービスを楽しんでいた。参加利用者 46 名

11月14日(水) 炭木 孫・子・老フェスタ

・フェスタに展示する作品を利用者共同で作成する。希望者のみ展示会にお連れし、他の事業所の作品などをみて楽しんでいただく。参加利用者 12 名

12月17日(月) 丸山おさむ氏歌謡ショー

・丸山おさむ氏による歌謡ショーをみて、楽しんで頂く。参加利用者 47 名

12月20日(木) ちとせ学院発表会

・園児たちによる演劇を披露していただき、ふれあひも合せて楽しんで頂く。参加利用者 41 名

1月21日(月) 新春かくし芸大会

・職員による芸(出し物)をみていただき、楽しんで頂く。参加型の出し物には利用者にも入っていた。参加利用者 44 名

2月25日(月)～3月1日(金) お食事ツアー(木曾路)

・計5日間の開催で、参加希望の利用者を炭木の木曾路までお連れランチを召し上がっていただく。参加利用者 42 名

8

平成30年度 ホームヘルプステーション 事業報告書

介護を提供するプロ集団としての意識をもち、利用者それぞれのニーズに合った サービスを提供し、安全安心な生活を営むことができるように援助していく。
そのためには、各事業所との連携を図り総合的な知識をもつように努める。

※平成30年度 実績目標時間数 総時間数 2,000時間

(内訳介護保険1,600時間・障がいサービス300時間、子育て支援20時間 保険外サービス 80時間)

総時間数・目標2,000時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1731	1833	1678	1731	1679	1514	1706	1614	1593	1482	1478	1605	19643.5
目標比	87%	92%	84%	87%	84%	76%	85%	81%	80%	74%	74%	80%	82%
昨年対比	101%	98%	98%	100%	97%	85%	93%	88%	87%	87%	95%	94%	94%

介護保険・目標1,600時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1439.1	1521.8	1417.9	1424.5	1371.6	1267.5	1439	1359.7	1307.8	1241.3	1246.0	1324.4	16360.6
目標比	90%	95%	89%	89%	86%	79%	90%	85%	82%	78%	76%	83%	85%
昨年対比	101%	100%	99%	98%	94%	81%	96%	90%	89%	88%	95%	92%	94%

- 8月までは、昨年を越す月もありましたが、9月以降は一向に昨年を上回る事ができませんでした。
- 要介護の方は、9月の台風の後には、入所を決める方が9月～3月の間に21名もいました。
- 要支援の方は、月額制から一部回数制になったため、休むと利用料金が少なくなる事からお休みをされ、振替もしたいかたが、予想通り増えています。

★要支援のサービスは、人件費を減らす方向で、1時間のサービスを45分に減らす
要介護のサービスの身体介護にかかわるサービスは、登録ヘルパー以外のパートヘルパーや
職員の訪問介護員、サービス提供責任者でできるだけ対応する取り組みをして、人件費を少なくなるように
していたことは、良い対策だったと考えられます。

○訪問型サービスA 茨木市独自の事業
平成30年12月より、訪問型サービスA開設して対応しています。
利用者を増やし、従事者の応募もしていきます。
平成31年3月時点では、利用者2名です。

☆ヘルパーの教育・定着化

○ヘルパー勉強会
100%出席目標で勉強する場所も内容も充実しています。



日	内容
10月	生活援助(調理で困った事)
11月	生活援助(調理実習)
12月	人権学習(障害者に対する対応)
1月	感染症(疥癬)
2月	新年決起大会
3月	平成30年度反省会(ハツとしたことなど)

★11月の調理実習は、庄コミュニティセンターをお借りする
10月に調理のサービスで、利用者から言われて
調理方法などが分からないメニューをヘルパーから上げてもらい
実際に作ってみました。
利用者様の世代も変わっていく中、ボークチャップや、ミートローフなどの
洋風、酢豚、マーボ豆腐などの中華などを希望される事がある
その料理を普通の家庭料理と考える利用者が増えており
実際に作ってみると時間もわからない、手間もわからない事が
わかり、ヘルパーのレポートのの一つとなった。

勉強会の充実

・毎月第3週の金曜日に行われる勉強会では
全員参加方、グループワーク、実技を取り入れ
楽しく、モチベーションを上げる勉強会を行っています。
調理実習は、楽しい生活援助の一つであり、しっかりと力と知恵を合わせ勉強していきます。
緊急時対応、身体介護での、車いす介助、オムツ交換、移動、移乗も実技で練習を
何度も行ったり、不安な部分の改善に努めています。

障害 目標時間300時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害	215.5	215.8	186.3	191.8	233.8	190.0	215.8	206.5	206.5	175.3	158.5	203.5	2397.0
目標比	71%	72%	62%	64%	78%	63%	72%	69%	69%	58%	53%	68%	67%
昨年対比	104%	91%	75%	82%	107%	82%	89%	79%	82%	80%	80%	92%	67%

○障害居宅・同行支援、移動支援

地震の影響で、引越しを余儀なくされる利用者もおり思うような成績を得る事ができませんでしたが、
本年度は、高齢介護の事業所からの依頼がみられ、新たな利用者の獲得ができました。
毎月の営業では、障害者のサービスも行っている事も宣伝していきたいと思ひます。

子育て 目標時間20時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子育て	33.5	33.5	42.8	46.3	36.8	20.5	22.3	15.5	24.8	33.3	35.8	42.3	387.0
目標比	168%	168%	214%	231%	184%	103%	111%	78%	124%	166%	179%	211%	161%
昨年対比	124%	149%	380%	2056%	3875%	2050%	342%	97%	33%	130%	251%	217%	792%

○障害・子育て

○子育てのサービスはとても流動的不安定ですが極力対応しています。
報酬が増えた事、依頼も多くあり、時間数、売上金額も増えています。

保険外サービス(アシスタントサービス) 目標80時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	44.4	61.7	31.0	41.3	37.1	36.3	28.8	32.5	53.9	32.5	38.0	35.0	472.5
目標比	56%	77%	39%	52%	46%	45%	36%	41%	67%	41%	48%	44%	49%
昨年対比	73%	79%	60%	85%	65%	73%	43%	53%	72%	90%	106%	88%	74%

○アシスタントサービスも昨年と同様な成績となっている、お困りの方に積極的に
利用してもらうように、介護保険以外のサービスを行っています。
入院中のサービスや、ショートステイ中にサービスも積極的に行っています。

○ヘルパー人材確保

29年度 ヘルパー数	⇒	30年度 ヘルパー数
36名		36名

パートのヘルパーが8月に1人退職⇒9月1名入職
登録ヘルパー(初任者研修者)⇒0人
登録ヘルパー(訪問型サービスA型従事者)⇒3月1人

☆外部研修の報告

登録ヘルパー《外部研修》

	内容	参加者
3月16日	人権学習(言語障害の現実と未来私たちの言葉聞いて 自ら積極的に研修に参加しています。	

サービス提供責任者《外部研修》

	内容	参加者
9月20日	嚥下障害～STにできる事できない事～	
11月15日	移動介助について基本的な考えを理解する	
11月28日	感染症対策について理解する。	
12月12日	災害時における、障害福祉サービス事業所の対応	
1月11日	茨木市高齢者サービス事業所連絡会	
3月16日	人権学習(言語障害の現実と未来私たちの言葉聞いて	
3月27日	介護保険制度の理解の為	

引き続き勉強会、研修会等参加をしていきます。

以上

ケアプラン数 月平均 172 件
 予防プラン数 月平均 38 件
 認定調査件数 月平均 14 件

1) 30 年度報告事項

- 30 年度の新規プラン数が 55 件あったが、60 件が減少があった。
 減少の原因としては施設入所・他界等である。
 やはり認知症の進行・介護度の重篤化による介護負担の増大等による在宅生活が難しい状況となっていることが考えられる。
 その中で今後、在宅生活の長期化を目指していくには、一人ひとりの状態の把握と早期発見・ケアプランの見直しが必要となる。

2) 30 年度ケアマネ活動報告

- 週 1 回のケアマネ会議の開催 (毎週火曜日 11 時～12 時)
- 内部研修
 - 自立支援型ケアマネジメントによるケアプラン作成 (4 月)
 - 虐待ケースについて～ケアマネジャーの役割～ (5 月)
 - 震災対応について (6 月)
 - 口腔ケアについて (7 月)
 - 高齢者の養護者に対する支援について (8 月)
 - 嚥下の仕組みの理解について (9 月)
 - 感染対策～インフルエンザ・ノロウイルスについて～ (10 月)
 - 居宅療養管理指導とは (11 月)
 - 認知症の人の日常生活と社会生活における意思決定の支援 (12 月)
 - 褥瘡について (1 月)
 - 福祉用具について (2 月)
 - 認定調査の実践研修 (3 月)

3) ケアプラン実績報告

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
ケアプラン数	179	182	173	171	172	177
予防プラン数	35	35	35	37	37	37
認定調査	20	11	14	10	6	13

月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
ケアプラン数	171	172	170	186	170	172	2075
予防プラン数	37	39	42	42	44	44	464
認定調査	12	14	17	16	20	26	174

- 茨木市認定調査員現任研修会 10 月 25 日
- 茨木市新規認定調査員研修 6 月 13 日
- 茨木市高齢者サービス専門連絡会研修 6 月 29 日
12 月 21 日
- 三島圏域地域リハビリテーション連絡会 12 月 8 日
- 居支・地域包括・在介主任ケアマネ会発足準備会 4 月 24 日
- 介護医療連携検討会 9 月 29 日
- ケアマネジメント研修 8 月 22 日 (第 1 回)・9 月 13 日 (第 2 回)
12 月 12 日 (第 3 回)
- 大阪介護支援専門員協会 茨木支部 9 月 15 日
- 薬剤師と学ぶ 2 月 20 日
- 認知症疾患医療センター研修会 3 月 7 日

7) 大阪府介護支援専門員実務研修実習受入れ

- 4 月 5 日 (1 名)・17 日 (1 名)
- 5 月 18 日 (1 名)・29 日 (1 名)
- 6 月 28 日 (1 名)
- 7 月 5 日 (1 名)・17 日 (1 名)・20 日 (1 名)
- 8 月 11 日 (1 名)

8) 人事異動

- 12 月 15 日 (退職)
- 1 月 4 日 (入職)

9) 戦略会議

- 第 1 回 平成 30 年 4 月 21 日
- 第 2 回 平成 30 年 7 月 21 日
- 第 3 回 平成 30 年 10 月 20 日
- 第 4 回 平成 31 年 1 月 19 日

4) 相談件数実績

- 30 年度の相談総件数 69 件 (内、ケアプランに繋がった件数 55 件)
 月平均 5 件で、相談件数の内訳は包括 18 件・家族 34 件 病院 12 件
 他事業所 5 件であった。今期も家族からの相談件数が多かった。
 やはり高齢化が進むにつれて介護が必要になったことが考えられる。
 また、医療機関からの相談もありプランに繋げることができました。
 各ケアマネが継続している、担当している利用者の主治医や
 担当している利用者が入院した際の面会等のこまめな情報交換を医療機関と
 増やすことで関わりも多かつことができ、プランに繋がった

5) サービス担当者会議開催数

- 延べ 350 件
 医師との連携 40 件
 介護保険更新申請時・区分変更時・介護サービスが増えたとき・減ったときにサービス
 担当者会議を開催する。利用者は日々状態が変化しており、プランの変更が必要にも増
 えているため必要に応じて、利用者を中心に関係者が意見を出し合う場を設定していく。

6) 外部研修

- 地域ケア会議 5 月 25 日・7 月 27 日・
8 月 25 日・9 月 28 日
10 月 26 日・11 月 30 日
- ケアプラン研修会 4 月 23 日 (第 1 回)・1 月 17 日 (第 2 回)
- 介護支援専門員全体研修会 7 月 24 日 (第 1 回)・12 月 14 日 (第 2 回)
- 介護支援専門員部会研修 6 月 20 日

H30 年度診療室事業報告

<医療者として寄り添えるケアについて>
 今年度は看取り期を過ごすための関わりや、治療、入院を拒否する利用者に対して、医療
 者として、病院や家族と話し合い、情報提供などの連携をとりながらケアに努めた。
 また、今年度は 2 回、外部からの面会制限を行ったが、利用者、家族に過度のストレスが
 かかり、体調を崩すことのないよう、体調の変化に特に注意し、ケアを行った。

<健康管理について>
 今年度は地震や猛暑、台風が相次ぎ発生したが、利用者、職員ともに大きなけがなどなく
 過ごすことが出来た。

10 月の感染症の発生時には、適切な治療が迅速に受けられるよう、施設医師・皮膚科専
 門医の協力を頂き、治療、対応をとることで終息することができた。
 冬季、インフルエンザについては全国的に過去最高の流行となっていたが、予防接種、フ
 ロアでの面会制限、また予防投与について準備を行い、施設内での発生を予防することがで
 きた。
 また、感染症、緊急時、オンコールマニュアルの見直しや疥癬、結核などの感染症に対し
 ても知識を深め、職員が迅速に適切な対応ができるよう外部研修の参加、伝達研修を行った。
 職員の健康管理については、健康診断・ストレスチェックテストを、7 月に朋委会に委託、
 実施し、適時医師との相談の場を持ち、健康管理につとめた。

<働き方改革への取り組み>
 今年度は業務の効率化をはかれるように看護記録の見直しや血圧計・体温計変更による
 検温業務の効率化、ショートステイ受け入れ時の看護業務の見直しを行い、業務の効率化に
 つなげることができた。引き続き取り組んでいく。
 また、看護師間で他部署へ応援体制がとれるよう調整を行った。協力しあえる職場環境つ
 くりにも引き続き努めていく。

入所者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員	7名	7名	3名	3名	4名	8名	7名	7名	6名	4名	3名	7名
診療所	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)
備考	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)	心臓病者 10名 (10月)

地域生活相談活動
・ 高齢者支援継続活動

栄養管理課における事業報告書

配食実績報告

配食実績表 (平成30年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	983食	1055食	1019食	1025食	1046食	1011食
前年比	123.2%	125.9%	126.9%	121.6%	115.2%	105.9%
目標比	78.6%	78.1%	78.4%	78.8%	77.5%	84.3%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績	1132食	1049食	1004食	933食	900食	984食
前年比	118.5%	114.3%	116.7%	107.1%	92.9%	89.5%
目標比	83.9%	80.7%	77.2%	77.8%	75.0%	72.9%

30年度全体実績として、前年度比112.2%、目標比78.6%となり、前年比を上回る結果となった。

1年間の合計食数が12141食、平均食数が1011食であり平成27年度ぶりに年間の平均食数が1000食を上回る結果となった。

民間の配食サービス会社が増加しているため、新規利用者の獲得に努め利用者様やケアマネージャー様、保健師様の意見を反映させた弁当作りを行っている。

《実費負担食数の推移》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実費負担食数	322食	374食	340食	332食	317食	311食
総数に対する割合	32.7%	35.4%	33.3%	32.4%	30.3%	30.7%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実費負担食数	360食	296食	268食	265食	258食	274食
総数に対する割合	31.8%	28.2%	26.7%	28.4%	28.6%	27.8%

実費利用数は11月～3月にかけては自費利用者が減少していったが平均的に総数に対して3割を占めるようになった。突発的な自費での配食サービスの利用にも対応をし、食数の増加につなげていく。

《業務内容》

- ・ 安否確認
- ・ 臨時利用の受け入れ (自費負担)
- ・ 行事食の実施
- ・ 個別対応の実施 (ご飯の頂き方、嗜好の把握、禁止食、お届け時間など)
- ・ リスクエスタカードの配布及び実施
- ・ 試食の実施
- ・ 他事業所へ案内チラシの配布
- ・ 子育て支援サービス
- ・ 献立表の配布
- ・ 栄養士の一口検査の実施

《課題》

- ・ 新規ご利用者様の獲得と継続利用
- 1、毎月各事業所にご挨拶をかねて訪問し、配食サービスのご案内をする事で栄養センター配食を知っていただくとともに、利用者様の利用状態なども伺う
- 2、ひだまり、ホームページに配食サービス案内や写真、献立表などを掲載し、具体的な配食サービス内容がみわかるようにする
- 3、新規利用者様の利用開始時には、栄養士も同行し利用者様のご状態や生活状況などを把握する
- 4、お一人様1回のみ800円での試食を実施し最初の利用をしやすいとする
- 5、毎月他事業所からの新規利用者紹介を2件以上を目標とする
- ・ 現在ご利用者様の利用継続
- 1、弁当の内容を充実させ飽きのこない弁当づくりをおこなう
- 2、定期的にご要望を聞き取らせていただく機会を設けてすぐに対応していくよう努める
- 3、1ヶ月継続してくださった利用者様にはお手紙をお渡しし、お気軽に意見を言っただけできるようにする
- 4、リクエスト頂いた料理を献立に反映していく

《まとめ》

30年度は年間平均食数が27年度ぶりに1000食を上回り、目標食数1日50食の達成に関して9月以降は毎月1回は達成している日がある状態が続いている。(最多は10月の4回)ご利用者様のお宅に訪問をしてご要望等をお伺いし、すぐに対応するように努めていることや、ケアマネージャー様や家族様へのおまめな連絡が信頼へと繋がり、利用数の増加、中止者の減少に繋がったと考えられる。しかし、目標には達成していないのが現状である。

1. 介護予防マネジメント業務 (一人30件制限のため、20件×9人=180件/月)

- ①総合事業 (ヘルパー、デイのみ利用の方)
 - ☆包括独自プラン... 1210件/年 (内新規30件)
 - ☆委託プラン... 1600件/年 (内新規65件)
 - ②予防給付 (福祉用具レンタル、訪問看護、デイケアを単独利用若しくは総合事業と併用利用の方)
 - ☆包括独自プラン... 991件 (内新規作成9件)
 - ☆委託プラン... 2215件 (内新規作成83件)
- ※現在は(1210件+991件)÷12=183件/月

- 【地区福祉委員会事業】
- ☆サロン、給食会等【白川地区、三島地区、西河原地区、庄栄地区、東地区、太田地区】
 - 51回 (血圧測定、個別相談 延べ512名)
 - 本年度、足を運んだ回数は53回減。血圧測定や個別相談は、336名減。各サロンに平均して行くように調整したため減少となった。
 - ☆地区相談会【東地区、白川地区、太田地区、西河原地区】73回 (血圧測定、個別相談 延べ724名)
 - 本年度、相談会開催回数は3回減。血圧測定や個別相談は、37名増。参加者が増加し、相談・血圧測定が増加した。

2. 総合相談
- 介護保険未申請及び認定があってもサービス利用にむすびついていない方の相談
 - ☆関係機関 (ケアマネ、医療機関等) ... 延べ1461件 (前年度より605件増)
 - ☆住民 (本人、家族、知人等) ... 延べ1787件 (前年度より887件増)

3. 権利擁護事業
- ☆成年後見制度... 延べ45件
 - ☆消費者被害... 延べ7件
 - ☆虐待... 7人 (疑い含む) 【身体的5件、介護放棄2件、経済的2件、心理的3件】※重複あり
 - 本年度は、1人のみ分離 (特養入所)。それ以外の方は、サービスを増やす等にて在宅生活を継続し虐待対応終了4人、次年度も対応継続するのは2人。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業
- ☆ケアマネに対する個別指導・相談... 439回
 - ☆関係機関との連携づくり※... 204回
 - ※セーフティネット会議【庄栄地区、三島地区、東地区、白川地区、西河原地区、太田地区】、グループホーム、小規模多機能施設運営推進会議 (みしま苑、グループホーム末広、庄栄エルダージェイサービス、デイ100、グループホーム美咲、ばるの家)、地区相談会、サロン、連絡会や会議等。
 - ☆支援困難ケース※... 新規29人 (前年度より8件増加)
 - ※家族に精神疾患がある、サービスを拒否する、問題行動を伴う認知症状等の15項目に分類。対応 (電話や訪問、ケースカンファレンス等) は、283回 (前年度より54回増)。

平成30年度 茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業 社会貢献事業 (生活困窮者レスキュー事業) 事業報告

- ◆総論
- 30年度は、6月18日に発生した大阪北部地震以降、西日本豪雨、台風の相次ぐ来襲などにより、被災者に対する支援、災害対策への意識の向上を図る一年となった。人命にかかわる被害はなかったものの、転居を余儀なくされる方の住居の確保や生活必需品の手配などに奔走することもあった。法人として取り組んでいる派遣少年院での就労支援講座に講師として継続的に取り組んでおり、現在では、庄栄エルダージェンターに毎月1回、卒院を間近に控えた院生が4名程度、車椅子などの手入れに社会奉仕活動として受け入れており、更生保護の一端を担っている。
- ◆活動について
- 参画している茨木市CSW協議会では、災害時におけるCSWの役割に焦点をあて、1月8日に開催した「福祉活動交流会」では、地域の福祉委員、民生委員、学校長など約100名を招き、震災時の各圏域からの状況報告、避難所の模倣、福祉避難所の紹介等を行った。今後、起こり得る災害時に要配慮者への支援が、円滑に行えるよう支援者の顔の見える関係づくりが出来たものと自負している。

◆健康福祉セーフティネット (いきいきネット) 会議開催状況

- 【開催回数】
東小学校区: 11回 白川小学校区: 11回
- 【参加人数】
東小学校区: 延べ174名 白川小学校区: 延べ327名

◆月別相談件数 (延べ)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	21	23	41	28	22	19	23	18	29	17	22	37	290

◆相談対象者内訳 (延べ)

高齢者	障害者	子育て世代	その他	計
180	44	18	48	290

5. 地域ケア会議

テーマ: 「SOSを見逃さない」～虐待になる前に～
圏域全体小学校区対象に、高齢者虐待について勉強会をおこない、各エリアで事例を使用し、グループワークをおこないました。

日	時間	場所	エリア	参加人数
5月25日	13:30~15:00	東コミュニティセンター	圏域全体小学校区	41
7月27日	13:30~15:15	東コミュニティセンター	白川・東	41
8月24日	13:30~15:00	藍野大学短期大学部	太田	29
9月28日	13:30~15:00	総持寺いのち・愛・ゆめセンター	三島・庄栄	36
10月26日	13:30~15:10	西河原コミュニティセンター	西河原	25
11月30日	13:30~15:15	東コミュニティセンター	圏域全体小学校区	41

- ◆その他
- ① (会議)
- 茨木市地域包括支援センター運営協議会 (年5回)
 - 茨木市地域包括支援センター連絡会 (毎月)
 - 茨木市総合事業連絡会 (毎月)
 - 茨木市認知症地域連携連絡協議会 (年3回)
 - 三島圏域地域包括支援センター連絡会 幹事会 協議会 (毎月)
 - レビュー会議【虐待評価】 (年3回)
 - 茨木市地域包括支援センター主任介護支援専門員連絡会 (毎月)
 - 茨木市地域包括支援センター医療職連絡会 (毎月)
 - 茨木市地域包括支援センター社会福祉士連絡会 (レビュー会議以外の月、年9回)
 - 茨木市地域ケア会議意見交換会 (年2回)
 - 茨木市認知症地域支援員との連携会議 (年7回)
 - 茨木市立総持寺いのち・愛・ゆめセンター支援方策会議 (年3回)
 - 茨木市認知症初期集中支援チーム検討委員会 (年3回)
 - 三島・庄栄・太田地域連携会議 (年2回)
 - (研修会開催等)
 - 介護支援専門員全体研修「認知症のある方の意識決定について」(12月)
 - 認知症サポーター研修(4月2回、11月)
 - エルダー圏域 介護支援専門員研修会「総合支援事業について」(4月)
 - 「どこでも、なんでも、相談できる体制」CSW、障害相談支援事業、包括 合同研修 (5月)
 - 「高齢者の終のすみかへの選び方」市民対象研修 (9月)
 - (実習生)
 - 藍野短大専攻科 (11月 2日間 2名)

人員 (平成30年3月末現在) ※1

センター長 (理事兼業務)	1名
看護師	3名
主任介護支援専門員	3名
社会福祉士	2名
事務員	1名

(平成31年度) ※2

センター長 (社会福祉士兼務)	1名
看護師	2名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士 (管理者兼務)	2名
事務員	1名

※1 平成31年3月31日 1名退職。平成31年4月1日 1名入職
※2 平成31年4月より、東・白川地域包括開設にて人員が10名→7名

◆主な相談内容

- ①住居が地震により被害を受け、転居先を紹介してほしい。
- ②精神障がい者の就労を支援してほしい。
- ③自閉児の通学に関して支援してほしい。
- ④不登校女子中学生の卒業後の支援。
- ⑤認知症独居高齢者の後見人制度活用のサポート。

◆主な社会貢献 (レスキュー) 事業について

- ①震災被災者に対する生活必需品の支給。
- ②職場での事故により、片足を切断された男性の転居費用の支援。
- ③精神疾患の引きこもりの男性に対する食料等の支援。

以上

〔H30年度事業報告事項〕

- 1: 目的として日頃、外食できない利用者様に対して、食事の楽しさや社会性を実感して頂く為、ココス喫茶会、串カツ・お寿司昼食会、フロアの中で手作りおやつ作りなどを新しく実施させていただきました。
結果: 計画通りにイベントを行うことは出来ましたが 受け入れる側も認知症の皆様という事だけで躊躇されるお店もあり今後の地域支援部分においてもアピールが必要だと考えます。
- 2: 自宅から外出拒否のある方は「顔なじみ」になるように職員が訪問したり時間をかけたり、何度もお迎えに上がり、利用中止を回避してきました。
結果: 家族様・ケアマネ様には良くしていただける有難いという言葉ももらいましたが 未来としての在り方を今後も追及していく次第です。
- 3: 月に1〜3回の行事は各曜日の登録人数が少ない曜日に実施し臨時利用等の声掛けを行い利用者確保を行ってきました。引き続き行います。
結果: 利用者様の重度化にともない 外向きのイベント又曜日ごとの固定に追われてしまい、行く場所も限られてくる現状です。地域の方の協力や家族同伴等も今後取り入れていきます。
- 4: 現在の利用者 家族様の満足度をアップさせる為に 認知症の緩和に良いと言われる前頭葉トレーニング、ユマニチュード、園芸療法などを取り入れて、認知症対応型特有の特化した訓練を行いました。
結果: 落ち着いた状態でお家に帰って頂く また安心して過ごして頂くことを目的として特化した認知症スケジュールを取り入れていきます。
- 5: 職員の団結を図りました。問題点をあげ 職員で話し合う機会を作りました。
結果: 離職率0%を達成することが出来 馴染みのメンバーにて馴染みの介護ができて安定感のある職場にすることが出来ました。

○中长期計画に基づき 1年間外部研修・内部研修ともしっかり勉強しました。

認知症の方に特化した勉強会なども取り入れながら行いました。

○中长期計画において運営推進会議を年2回行い 地域の方との交流を

深めることが出来ました。

☆運営推進会議

H29年 4月19日 12:30~14:00	15名	家族様 民生委員 ケアマネ様
H29年11月29日 13:00~14:00	13名	ご本人様 地域包括センター様など
内容 活動状況の報告		
平成30年度の、事業計画、目標、行動一覧表、要配慮者施設、職員外部研修計画についての報告を行いました。またキャラバン勉強会なども行って頂きました。直近6か月間におけるヒヤリハットの事例を報告したり再発防止にむけた対策を報告しました。年々参加していただけるご家族様も増えており未来の職員とのコミュニケーションの場にもなりつつあります。家族様の助言や意見を取り入れてより良い未来の糧となるようにしていきます。		

○中长期計画において リスク面においても3か月に一度リスクマネジメント会議を

行い ヒヤリハットを集計したものの評価し危険を回避しました。

○満足度100%会議を3か月に1回行いました。

職員の気持ちの把握など パワーハラスメントアンケートなども含めて

職員がここにいたいと思える職場づくり、また離職率0%を継続して参ります。

〔実績報告〕

年月	営業日数(日)	目標	利用者数(名)	一日平均利用者数(名)	目標達成率	前年対比
平成30年 4月	25	300	248	9.9	82.7%	117.7%
5月	27	324	271	10.0	83.6%	104.2%
6月	26	312	245	9.4	78.5%	93.5%
7月	26	312	251	10.0	80.4%	105.0%
8月	27	312	262	9.7	84.0%	106.5%
9月	26	312	251	9.7	80.4%	109.1%
10月	27	324	281	10.4	86.7%	119.6%
11月	26	312	264	10.2	84.6%	101.5%
12月	26	312	267	10.3	85.6%	123.0%
平成31年 1月	24	288	232	9.7	80.6%	107.4%
2月	24	288	228	9.5	79.2%	104.1%
3月	26	312	255	9.8	81.7%	96.6%
合計	310	3708	3055	-	-	-
年間平均	-	-	-	9.9	82.4%	106.8%

担当者名	実施した内容	感想・勉強したこと
平城30年 4月30日	家庭での防犯・聴覚を学ぶため	聴覚性肺炎や悪寒しないための訓練などを勉強しました。
5月7日	リスクマネジメント事例検討と対応	事例検討から 良い例と悪い例をあげて家族様とのトラブルに ならない為の勉強をしました。
6月15日	緊急時の対応 防災・水害 感染対策	災害時の職員配置などについて話し合いました。 想定訓練を行いました。
7月20日	脈博予防	介助の仕方 脈博予防体験を行いました。 自分を守る方法なども勉強しました。
8月25日	胃薬・ストマ・褥瘡介護	いろいろな観点から 医療的ケアの受け入れも対応できるように 勉強しました。
9月21日	入籍研修	ユマニチュードを使って ご利用者様の意思・尊厳を確保 することを学びました。
10月19日	認知症・レビエ小体型認知症	認知症対応型としての 認知症という病気を学びました。 どんな方でも受け入れていく決意をしました。
11月23日	接遇・マナーについて	利用者様や家族様に対してのサービスについて再確認しました。
12月14日	身体拘束・虐待	虐待などは早急発見・早期対応が不可欠であることを勉強しました。 身体拘束についてもいけないことを勉強しました。
平成30年 1月18日	感染症・集中看護事例検討	事例検討に基づいて 広げないようにすることの大事さを 学びました。手洗いの仕方も学びました。
2月15日	倫理・法令遵守について	介護職員の1員として 介護福祉士としての自覚などを新たに 勉強しました。
3月15日	非常時の訓練	実際に避難場所が変更されている中津小学校まで歩きました。 救命救急も含めて勉強しました。

H30年度のイベント

日	場所	利用者参加人数	前年度参加人数	担当	状況報告
4月6日	春を楽しむ会	11名	-		この日は花見を予定していましたが桜が早まってしまい 3月末に花見をしてこの日を春を楽しむ会として フロアの中で春の歌を唄ったりゲームをしたりして 春を楽しんでもらいました。 目的・趣旨: 春の季節感を感じて頂き、 喜びを感じてもらい社会性に繋がる為開催しました。
4月11日	若い頃を思い出そう会	10名	-		昔の写真を家族様に用意して頂きました。 この頃は苦労した 食べ物がなかったなど 苦労話も多かったですが顔は笑顔でした。 目的・趣旨: 若い時の回想法などを取り入れ 認知症緩和の為 企画・開催しました。
4月21日	れんげ散策	9名	-		気候も良かったので 少人数ずつれんげを見ました。 目的・趣旨: 外の日差しにあたって頂き花を摘み楽しさ 匂いを嗅ぐという五感を全身で感じて頂けるように 企画・開催しました。
5月10日	母の日会	12名	10名		母の日にお花と手作りカードのプレゼントをさせて 頂きました。喜ばれ涙を流される ご利用者様もいらっしゃいました。 目的・趣旨: ご自身が母として活躍していた頃などを 回想して頂いたり、又日頃の感謝を込めて開催しました。
5月15日	バラ公園散策	11名	12名		晴天に恵まれましたが 日差しが強くとても暑くなっ てしました。職員は影と水分補給に徹しています。 花の香りバラの美しさにうっとりされておられました。 目的・趣旨: 認知症予防として、外出して初夏の季節を 五感で感じて頂く為に企画、開催しました。

○6月は地震の為 企画していたお寿司ツアーが延期となりました。

職員は ご利用者様の心のケアを行い お菓子作りなどフロア内で出来るイベントを増やしました。

7月7日	七夕会	9名	9名		短冊にそれぞれ願い事を書いていただき飾りつけを しました。短冊の前で写真撮影をしたりレクリエーション をして楽しみました。 目的・趣旨: 考えて書くという事が難しくなって来られて おられる方もなるべく書いてもらう事にしています。
7月23日	魚輝水産 串カツ・お寿司ツアー	10名	-		6月に予定していた企画を家族様やご利用者様の強い希望 の為 職員も一気団結し進めることにしました。 日頃外食をしない方にとっても喜ばれる企画と なりました笑顔あふれる食事会でした。 目的・趣旨: 外出の機会を増やし社会性を身につける為に 企画・開催しました。

8月23日	未来夏祭り	11名	10名	夏祭りを開催しました。夏祭りを開催するにあたって準備等細かいところまで打ち合わせをしました。ご利用者様も喜んで頂く企画ですが職員も楽しめる行事としておこなっています。 目的・趣旨：夏の季節感を味わってもらえるように企画しました。また夏祭りの雰囲気を感じて頂きました。
9月17日	敬老会	11名	11名	日頃の感謝を込めてお祝いさせていただきました。写真やメッセージのせたボードを作り お渡しさせていただきました。とても喜ばれておられました。 目的・趣旨：利用者様が今まで頑張ってきた話などを聞き取る回想法や日頃の感謝を込めて実施しました。
9月27日	ココス 沢良宜店 喫茶会	12名	12名	9月も大雨に見舞われ いつも行かせて頂いているココス鮎川店様が水濡れの為使えない状態でしたので急遽沢良宜店様に協力していただきました。 目的・趣旨：外出の機会を作って 認知症緩和に繋がるように 企画・開催しました。
10月20日	運動会	12名	9名	パン食い競争、玉入れ、借り物競争、ビンゴ大会などで盛り上がりました。 お昼ご飯のおにぎりはご利用者様で作って頂きました。 目的・趣旨：秋を感じて頂くことや、運動会を思い出しってもらう回想法として実施しました。
10月31日	ハッピー ハロウィン会	10名	-	ハロウィン会を企画しましたがご利用者様の8割は知らない方が大半でした。仮装をしたりお菓子を配ったりしました。 目的・趣旨：現代のイベントなども取り入れ新しい事を体に取り込んでいく企画提案しました。
11月10日	中津小学校 文化展見学	12名	11名	芸術の秋ということで近くの小学校まで足を延ばして文化展を見学しました。芸術作品を熱心にご覧なられて皿回しにも挑戦され気分もリフレッシュした様子でした。 目的・趣旨：地域の皆様と交流することによって社会の一員として実感して頂く為、企画しました。
11月16日	紅葉狩り	12名	12名	耳原公園に紅葉狩りに出掛けました。天候にも恵まれて綺麗に色づいていました。 皆様の表情も和まれていていい笑顔で記念写真もとれて思い出の一日でした。 目的・趣旨：認知症予防として、外出して秋の季節を五感で感じて頂く為企画、開催しました。

30

12月25日	クリスマス会	12名	12名	職員もこの日に向けてハンドベルの練習を行いました。朝よりサンタの格好をしていただき 写真撮影などおこなっています。 目的・趣旨：クリスマスの雰囲気や年末を感じて頂き、又、音楽療法も取り入れた認知症の進行防止の為実施。
平成31年 1月8日	ハッピー ニューイヤー会	12名	10名	新年をお祝いして、書初めをして頂きました。また 職員による二人羽織も笑いを誘いました。皆様も表情が和まれました。 目的・趣旨：新年の雰囲気を感じて頂き、又「二人羽織」などでの回想法での認知症進行の防止の為実施しました。
2月2日	節分会	12名	11名	鬼に扮した職員めがけてお手玉を投げて皆様「福」を呼び込んで下さっていました。数々のゲームで盛り上がり過ぎて下さり笑顔の一日となりました。 目的・趣旨：節分の雰囲気を感じて頂く為実施しました。
2月14日	バレンタイン会	9名	9名	チョコレートのあげた話 もらった話をしました。ビンゴ大会では1位～3位までの方が大きいプレゼントがあり 大変盛り上がりくれました。 目的・趣旨：バレンタインの雰囲気を感じて貰いました。数字を使ったイベントでは認知症予防に繋がる企画としてあげさせて頂きました。
3月2日	ひなまつり会	12名	11名	お雛様用の羽織とお内裏様用の衣装を職員が手作りして写真撮影を行いました。笑顔も多く写真撮影おいてもなりきっておられました。 目的・趣旨：ひなまつりの雰囲気を感じて頂く為、また、子育ての頃を回想して頂く為、実施しました。
3月11日	ココス 沢良宜店 喫茶会	12名	12名	外出の機会を作りました。ゆったりした時間を過ごして貰える企画に 職員も自信に繋がりました。利用者様も「おいしいね」とご満悦でした。 目的・趣旨：日頃、外食できない利用者様に対して食事の楽しさや社会性を実感して頂く為、実施しました。

○今年度は初めての企画もありました。マンネリにならないように職員も一致団結し今後も進めて参ります。月1回～2回のイベントに加え おやつ作り ビンゴ大会なども行いました。笑顔溢れる未来でした。ご利用者様の重度化にともない外出曜日の固定などが問題になってきています。地域の方の支援・またはご家族同伴イベントなども今後増やしていきます。

31

平成30年度福井多世代交流センターの事業報告 (概要)

平成30年度 福井多世代交流センターの利用者数

利用者数	送迎車利用者数 (送迎車の利用は無料)
4月 1,000人(内夜間 24人)	162人
5月 843人(内夜間 30人)	156人
6月 769人(内夜間 39人)	123人
7月 937人(内夜間 31人)	172人
8月 913人(内夜間 65人)	132人
9月 800人(内夜間 49人)	147人
10月 1,094人(内夜間 81人)	190人
11月 1,027人(内夜間 72人)	166人
12月 908人(内夜間 48人)	153人
平成31年	
1月 944人(内夜間 70人)	176人
2月 972人(内夜間 78人)	176人
3月 1,025人(内夜間 64人)	190人
合計 11,232人(内夜間 651人)	1,943人

茨木市福井多世代交流センターは、高齢者に加えて18歳以下の子どもが利用できる施設になって4年が経過しました。

当センターの運営・管理につきましては、職員を2人体制として交代勤務で行っております。施設利用の有料化に伴い、団体の部屋利用とマッサージ機等の附帯設備利用について有料になり、開館時間につきましても、午前9時から午後9時までとなっております。

また、茨木市直営の送迎バスの廃止により、利用者の利便性を確保するため、自主事業として送迎車を運行し、利用者の送迎を行っております。

(1) 施設の利用人数について

平成30年度の施設利用者総数は11,232人(前年度対比104.8%)で、1ヶ月の平均利用者数は936人でありました。その内、18歳以下の学生が学習室を利用した人数は684人で、子どもふれあい交流事業に参加した子どもは157人でありました。また、送迎車の利用総人数は1,943人で、1日の平均利用人数は6.77人でありました。

(2) 施設の利用状況について

利用の状況については、登録の同好会や趣味の団体による曜日を決めての活動、日常的にはマッサージ機やヘルストロン、卓球、囲碁と将棋、パンパーの利用、さらには、地域の老人会活動など、高齢者の活発な活動・交流の場として利用されました。なお、子どもの利用に関しては、当センターでは、中学生と高校生が自習のために利用する場として「学習室」を運営しております。

同好会として、「カラオケ」「パンパー」「グラントゴルフ」「詩吟」「生花」「囲碁・将棋」の各同好会が、また、趣味の団体として、「民謡」「カラオケ」「踊り」「ギター」などがあります。

(3) 介護予防体操事業等の実施について

利用者のふれあい交流や健康保持などを目的として、「子どもふれあい交流事業」(22回実施)や「介護予防(初級)体操教室(リズム体操・元氣いばらき体操など)」(26回実施)、「はつらつ運動教室」(21回実施)などの委託事業を実施、また、自主事業として演奏会や講演会などの「教養講座」(5回実施)や映画会(23回実施)、作業療法士による「健康リハビリ」(6回実施)の実施、学生の自主学習を支援するため、週1回「学習アドバイザー」を配置するなどの事業を定期的に行うとともに、利用者との交流をはかるため、「うどん大会」、「おでん大会」を実施しました。

(4) カラオケ事業等の実施について

日頃の同好会活動の発表の場として、「うたまつり」を実施し、4月に「さくらまつり」、7月には、「納涼大会」、10月には「もみじまつり」、1月には「新春お楽しみ会」として、カラオケや詩吟、舞踊などの発表会を、毎回100人程度の参加をえて盛大に開催しました。さらに、広く一般の利用者もカラオケに参加できるよう、毎月1回「カラオケ広場」を実施して、多くの利用者(毎回25～30人)に楽しんでもらっています。加えて、大広間の利用がない日にカラオケを自由に楽しんでいただくため、「カラオケ体験日」(月4回程度)を行いました。

また、今年度から夜間の利用促進を図るため、月1回「カラオケナイト事業(夜間6時～8時30分)」を実施しました。

32

41

※()は利用人数

平成30年

4月	4日	リズム体操(23人)
	6日	カラオケナイト(10人)
	7日	映画会(15人)
	10日	さくらまつり(110人)
	11日	はつらつ出張講座(21人)
	14日	子どもふれあい交流事業(8人)
	18日	元気いばらき体操(21人)
	21日	映画会(8人)
	24日	カラオケ広場(20人)
	25日	はつらつ運動教室(28人)
	28日	子どもふれあい交流事業(7人)
		※カラオケ体験日 4回(60人)
5月	2日	リズム体操(30人)
	8日	カラオケナイト(4人)
	9日	はつらつ運動教室(34人)
	12日	子どもふれあい交流事業(6人)、映画会(6人)
	16日	元気いばらき体操(27人)
	19日	映画会(8人)
	21日	はつらつ脳若返り教室(19人)
	22日	カラオケ広場(23人)
	23日	はつらつ運動教室(35人)
	25日	健康リハビリ体操(5人)
	26日	子どもふれあい交流事業(8人)
	30日	はつらつ出張講座(26人)
		※カラオケ体験日 3回(58人)
6月	2日	映画会(9人)
	6日	リズム体操(25人)
	9日	子どもふれあい交流事業(7人)
	11日	カラオケナイト(10人)
	13日	はつらつ運動教室(33人)
	16日	映画会(12人)
	26日	カラオケ広場(23人)
	27日	はつらつ運動教室(31人)
	29日	第1回教養講座「和太鼓演奏会」(15人)
		※カラオケ体験日 3回(51人)

33

7月	4日	リズム体操(21人)
	7日	映画会(4人)
	9日	はつらつ脳若返り教室(15人)
	10日	カラオケ広場(17人)
	11日	はつらつ運動教室(17人)
	14日	子どもふれあい交流事業(7人)
	18日	元気いばらき体操(28人)
	20日	健康リハビリ体操(5人)
	21日	映画会(11人)
	25日	はつらつ運動教室(25人)、カラオケナイト(7人)
	27日	高齢者交通安全教室(21人)
	31日	納涼大会(92人)
		※カラオケ体験日 4回(56人)

8月	1日	リズム体操(27人)
	4日	映画会(12人)、子どもふれあい交流事業(6人)
	8日	元気いばらき体操(22人)
	17日	カラオケ広場(28人)
	18日	映画会(9人)、子どもふれあい交流事業(6人)
	20日	はつらつ脳若返り教室(13人)
	22日	はつらつ運動教室(23人)、カラオケナイト(10人)
		※カラオケ体験日 4回(59人)

9月	1日	映画会(4人)
	5日	リズム体操(16人)
	8日	子どもふれあい交流事業(5人)
	11日	カラオケ広場(29人)
	12日	はつらつ運動教室(19人)
	15日	映画会(4人)
	17日	はつらつ脳若返り教室(13人)
	19日	元気いばらき体操(17人)
	22日	子どもふれあい交流事業(8人)
	26日	はつらつ運動教室(21人)、カラオケナイト(0人)
	28日	健康リハビリ体操(10人)
	29日	消防訓練(30人)
		※カラオケ体験日 4回(49人)

10月	3日	リズム体操(18人)
	6日	映画会(10人)
	9日	カラオケ広場(24人)
	10日	はつらつ運動教室(21人)
	13日	子どもふれあい交流事業(8人)

34

	26日	子どもふれあい交流事業(10人)
	30日	リズム体操(39人)、カラオケナイト(3人)
		※カラオケ体験日 3回(31人)

2月	2日	映画会(7人)
	6日	リズム体操(32人)
	9日	子どもふれあい交流事業(5人)
	12日	カラオケ広場(22人)
	13日	はつらつ運動教室(31人)、第4回教養講座「講演会」(16人)
	16日	映画会(14人)
	18日	はつらつ脳若返り教室(24人)
	20日	元気いばらき体操(26人)
	23日	子どもふれあい交流事業(6人)
	27日	はつらつ運動教室(28人)、カラオケナイト(7人)
		※カラオケ体験日 3回(53人)

3月	1日	元気いばらき体操(10人)
	2日	映画会(10人)
	6日	リズム体操(38人)
	12日	カラオケ広場(23人)
	13日	はつらつ運動教室(31人)
	15日	健康リハビリ体操(7人)
	16日	子どもふれあい交流事業(7人)、映画会(6人)
	18日	はつらつ脳若返り教室(25人)
	20日	元気いばらき体操(21人)
	23日	子どもふれあい交流事業(5人)
	26日	第5回教養講座「クラシックギター演奏会」(24人)
	27日	はつらつ運動教室(33人)、カラオケナイト(6人)
	29日	消防訓練(14人)
		※カラオケ体験日 4回(56人)

平成31年

1月	5日	映画会(10人)
	9日	はつらつ運動教室(29人)
	12日	子どもふれあい交流事業(7人)
	15日	カラオケ広場(19人)
	16日	元気いばらき体操(25人)
	18日	健康リハビリ体操(7人)
	19日	映画会(6人)
	21日	はつらつ脳若返り教室(12人)
	22日	新春お楽しみ会、おでん大会(96人)
	23日	はつらつ運動教室(31人)

35

36

施設に係る利用許可業務、管理業務及び実施事業報告書

1. 団体利用

団体名	利用回数 (回)	延人数 (人)
1 唱と唄りの会	30	128
2 こども会	24	417
3 カラオケ愛好会	22	256
4 絆の会	12	211
5 うまいず会	24	268
6 YBB同好会	13	125
7 グランドゴルフ	4	43
8 福井地区福祉委員会	1	75
9 ゆりの会	22	207
10 福井地区老人会	5	120
11 山手会2丁目支部	11	161
12 民謡こぶき会	17	54
13 山手会4丁目つくし会	1	24
14 ヘルマンハーブきらめき	1	5
15 カラオケ有楽会	2	14
16 朝日交楽会	1	45
17 ひまわりの会	1	9
18 元気いばらき体操普及会	2	5
19 カラオケ同好会	5	29
計	19 団体	195 2,196

2. 同好会

団体名	利用回数 (回)	延人数 (人)
1 きずきギタークラブ	43	124
2 囲碁教室	24	144
3 民謡	48	615
4 グランドゴルフ	56	632
5 カラオケ同好会	47	675
6 花苑	18	129
7 料理	22	95
計	7 団体	268 2,414

3. 地域介護予防活動支援事業

内容	実施回数	人数
はつらつ教室「運動クラス」	21	563
はつらつ教室「脳衰防止クラス」	10	171
計	31回	734

4. 介護予防教室

内容	実施回数	人数
はつらつ出陣講座	2回	47
「リズム体操」・・・心と身体に	12回	316
「元気いばらき体操」・・・心と身体に	12回	255
計	26回	618

5. 敬老会・連絡会・連絡会

内容	実施回数	人数
和太鼓演奏会	1回	15
音楽会・連絡コンサート	1回	17
ヘルマンハーブ演奏会	1回	42
康福会	1回	16
ギター演奏会	1回	24

6. 子ども交流センター事業

内容	実施回数	人数
子どもふれあい体験	22回	157

7. 健康リハビリ体操事業

内容	実施回数	人数
健康リハビリ体操	6回	41

自主事業

内容	実施回数	人数
送迎車の運行	287回	1943
学習支援事業(学習アドバイザー)	50回	14
カラオケナイト(夜間版カラオケ)	12回	76
カラオケ広場	12回	274
さくらまつり	1回	110
納涼大会	1回	92
さくらまつり うどん大会	1回	112
新春お楽しみ会 おでん大会	1回	96
カラオケ体験日	43回	638
健康会	23回	203
消防訓練	2回	44
高齢者交通安全教室(添削型)	1回	21

<参考> 部屋及び付帯設備の利用料について

表木市多世代交流センター条例

(利用料金)

第16条 利用者は、別表第1に定める利用料金を前納しなければならない。

別表第1 (第16条関係)

介護予防センター利用料金表

地名・区分	利用時間	午前	午後A	午後B
		午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後9時まで
大広間	カラオケを利用しない場合	780円	1,040円	780円
	カラオケを利用する場合	1,280円	1,540円	1,280円

シニア交流センター利用料金表

地名	利用時間	午前	午後A	午後B
		午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後9時まで
和室(第1)		100円	140円	100円
和室(第2)		220円	300円	220円
会館室		220円	300円	220円
研修室		310円	420円	310円

備考 「和室(第1)」は20平方メートル以下の和室をいい、「和室(第2)」は20平方メートルを超える和室をいう。

(利用料金)

第28条 共用ルーム(ゲートボール場及び多目的広場を除く。次条第1項において同じ。)の利用料金は、無料とする。

2. 利用者(第26条に規定することも交遊・支援センターを利用することができる者を除く。)が次の各号のいずれかを利用するときは、1日当たり100円の利用料金を前納しなければならない。

(1) 居間設備(第26条で定めるものに限る。次条第2項において同じ。)

(2) ゲートボール場

(3) 多目的広場